

「アナフィラキシー対応ホットライン」

(公立昭和病院、小平市、西東京市)

公立昭和病院では、小平市や西東京市などの構成市とアナフィラキシー対応ホットラインの協定を結んでいます。この協定により、市内の公立小学校等において、食物アレルギーやアナフィラキシーショックの症状が疑われた場合に、ホットラインで小児科医師へ直接相談等ができるようになりました。相談では、エピペン[※]の使用及び救急車の要請の可否等について、判断を仰ぐことができ、迅速な処置・対応によって児童・生徒の命の危険を回避することにつながります。

また、この協定に基づきホットラインを利用している施設と年に1回ミーティングを行い、より良い運用に向けて学校等の施設、医師会等と顔の見える連携を進めています。構成市内の子供を預かる施設の職員を対象に、エピペンの手技やAEDの使用方法についての講習会も定期的を実施しています。

※エピペン：アナフィラキシー症状を緩和するために自己注射する補助治療薬。緊急時には、学校・保育所等の教職員が本人に代わってエピペンを注射することも想定される。